

先生方へ

巻末教材 (P.97 ~ 115) 解答と解説

楽器の森・音楽史の館	⇒ 89 ページ
譜読みの島	⇒ 90 ページ
アナリーゼの泉	⇒ 91 ページ
子ども音楽辞典	⇒ 92 ページ
感性を育む 新曲視唱	⇒ 93 ページ
耳を開く 聴きとり術講座	⇒ 94 ページ
今月の楽譜	⇒ 95 ページ

テレビで聴いたあの曲はなに? ①

文：松下恵子

まつした・けいこ ●ヤマハ音楽教室で8年間講師を務めた後、アメリカでメソッドの創始者ジェーン・バスティン女史に直接指導を受け、子どもの心をつかむ指導法に開眼。現在、東京足立区にてピアノサークル・ドルチェを主宰、PTNA 川の手アイリスステーション代表。

「大改造!! 劇的ビフォーアフター SEASON II」の挿入曲

バルトーク作曲《ルーマニア民族舞曲》

ルーマニア各地の民謡を題材にした小品6曲を組曲にしたもの。

1. 棒踊り 2. 飾り帯の踊り 3. 踏み踊り 4. 角笛の踊り 5. ルーマニア風ポルカ 6. 速い踊り

番組中で使われているのは最後の2曲です。

ピアノソロの他、管弦楽のためのアレンジもバルトーク自身が手掛けています。

友人のセーケイ・ゾルタンが編曲したヴァイオリンヴァージョンを聴くと曲の雰囲気がよくわかり、ますます楽しく弾けます。



大改造!! 劇的ビフォーアフター SEASON II
★リフォームで家族の問題を解決する、笑いあり、涙ありの家族応援バラエティー
毎週日曜/午後7:58~8:54/司会 所ジョージ
ABC・テレビ朝日系全国ネットにて放送中



楽器の森

岳本恭治

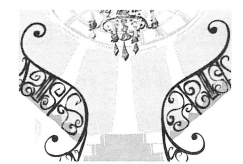
P.97 ~ 98

鍵盤を押すと簡単に音が出るピアノでは、クラリネットやヴァイオリンなどのように、自分で音を作り出す楽器に比べ、「音を出す」という意識が希薄になっています。弦がハンマーによって叩かれ振動し、音を発生させていることを、子どもたちにしっかりと理解させ、正しい打鍵を学ばせなければなりません。

実際にハンマーが弦を叩いて振動するのみでは、かぼそい音しか発生しません。弦の振動が駒を通して響板に伝わり、増幅されます。さらにその振動がボディに伝わり、ピアノの音として聴くことができます。

しかしながらピアノを弾いている人には、ピアノ全体から発生する音を聴くことはできません。そのために鍵盤を弾きながら聴いている音を小さく感じてしまい、つい肩、肘、手首、指の付け根に余分な力を入れて弾き、結果的に、ピアノ全体からかなり大きな音を発生させてしまいがちです。必要以上に鍵盤を叩くと、弦に不必要な力を加えてしまい、大きい汚い音になったり、大きな音で弾いているつもりでも、すでに弦の振動の限界を越えているために実際には響きのある大きな音にならない場合がよくあります。

弦にハンマーを叩きつけないように、弦を木琴に喩えて、マレットで突っつかずポンと響かせるイメージで、鍵盤を押すといいでしょう。しかし、くれぐれも必要以上に指を高く上げたり、肘や手首を振らないよう、十分に注意する必要があります。また、鍵盤を押していると、特に低音域では、指先にビリビリと弦の振動を感じます。これも、きちんと鍵盤を押し、速く離しすぎないようにするための目安になります。



音楽史の館

小宮正安

P.99 ~ 100

解説

ハイドン、モーツァルト、ベートーヴェンに代表される古典派の室内楽作品、特に弦楽四重奏曲は、「賢人の対話」と喩えられることがあります。問題1のように、当時の教養ある市民（彼らの多くは教養のひとつとして楽器演奏も身につけていました）は、仲間たちと集まり四角いテーブルを囲んで、よく弦楽四重奏曲演奏を楽しんでいました。

そしてその弦楽四重奏曲にもしばしば登場するのが、ソナタ形式です。性格も調も異なる2つの主題が、互いに絡まり合い時に戦い合いながら、最後には新たな局面へと至るという考え方。それは、当時の市民にとっての理想的な対話のあり方（哲学の用語では「弁証法」と言います）と重なるものでした。そしてこのような対話の文化が、今までになかった政治的、経済的なアイデアを生み出し、やがてそれを武器に市民は王侯貴族に代わって社会の中心に躍り出てゆくこととなります。

つまりソナタ形式とは、古典派が活躍した18世紀後半の独特な考え方を映し出した音楽の形式なのです。果たせるかな、この世紀の終わりにフランスでは革命が勃発し、市民が主体となったまったく新しい世界が生まれるのです。

チャレンジコーナー

クイズとドリルで音楽大冒険

おんがくだいぼうけん
クイズとドリルで音楽大冒険

おんがくし もり
楽器の森 ⇒ 97 ページ

おんがくし やかた
音楽史の館 ⇒ 99 ページ

ぬりえ
絵 ⇒ 101 ページ

ふよ しま
譜読みの島 ⇒ 102 ページ

いずみ
アナリーゼの泉 ⇒ 104 ページ

こ おんがくしてん
子ども音楽辞典 ⇒ 106 ページ

しんきよくししやう
新曲視唱 ⇒ 108 ページ

き じゆつ
聴きとり術 ⇒ 110 ページ

かくふ
楽譜「チョコンスターがやってきた」 ⇒ 112 ページ



イラスト: 吉田しんこ

クイズとドリルで音楽大冒険

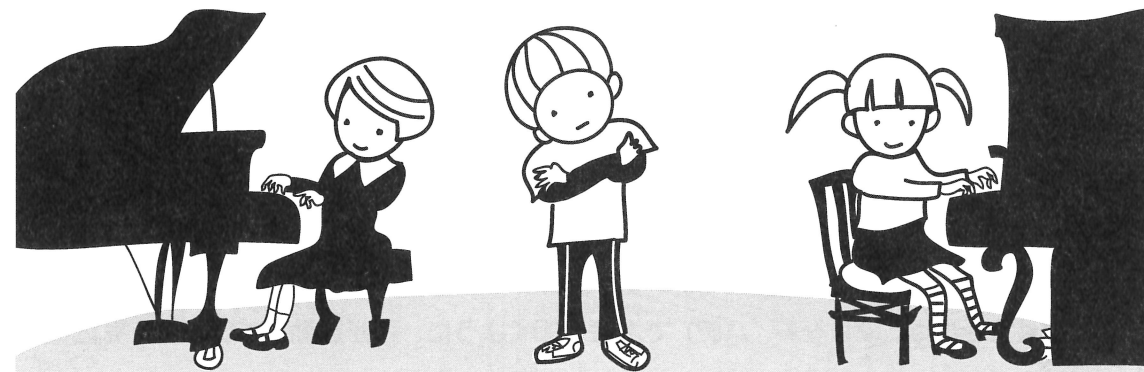
第1回 ピアノ その1



たけもときょうじ せんせい
問題作成: 岳本恭治 先生
すだかやすこ
イラストー 駿高泰子

クイズ

ピアノはどうして音が出るんだろう？



ここがポイント!

いちばんひく おと で けんばん お
一番低い音が出る鍵盤を押すと、
ゆびさき
指先がビリビリするよ。
なに
何かがふるえているのを感じよう!



この部分に並んで
いるのが鍵盤だよ。

けんばん お
鍵盤を押しながらピアノの中を
うご
のぞくと、動いているものがあるね。
うご
どんな動きをしているだろう？

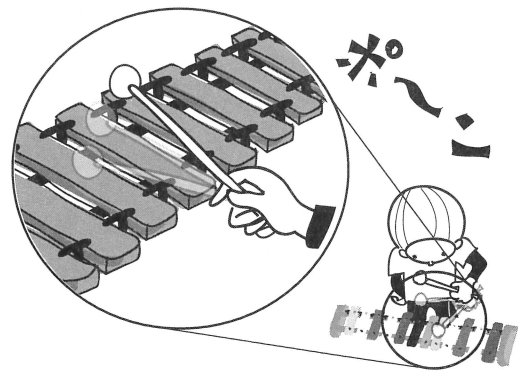


せいがい
正解は
うら
裏を見てね

せい かい 正 解

げん たた しんどう 弦がハンマーで叩かれて振動するからなんだ!

図A-1と図B-1を見てみよう。これがピアノの弦なんだ。次に図A-2と図B-2を見てくれるかな。ハンマーという部分に注目してみよう。おもしろい形をしているね。ヒツジなどの動物の毛を集めて圧縮（ギュッと押し固めた）して作ったフェルトに、割りばしのような木の棒の先が差し込まれているんだ。



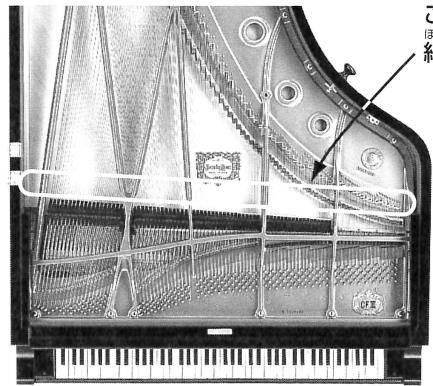
グランドピアノ（図A-2）では、鍵盤を押したとき、ハンマーの下にある部分が持ち上がる。そして、この部分に押し上げられたハンマーが弦を叩くんだ。すると、弦が振動して（ふるえて）音が出るんだよ！ アップライトピアノでは、図B-2のように、ハンマーの動きが横向きに変えられているんだ。

ピアノを弾くときはこんなイメージで！

ピアノを弾くときには、マレット（バチ）で木琴を叩くように、弦が振動していることを思い浮かべながら、鍵盤をていねいに押そうね！

グランドピアノ

図A-1

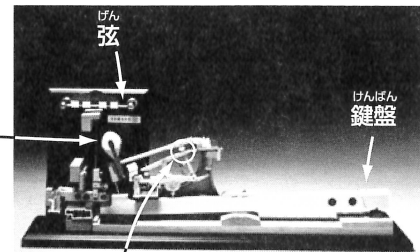


ここに並んでいる
ほそなが せん げん
細長い線が弦。

こっちら
みると…

こういうものがズラッと並んでいるんだよ。

図A-2

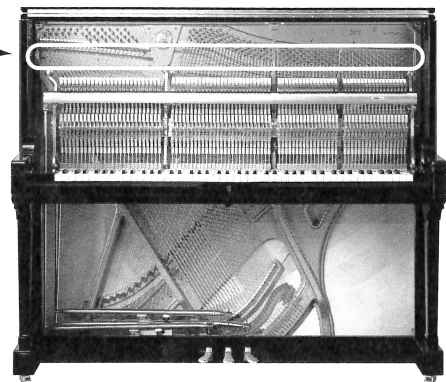


ハンマー

鍵盤を押すとここが突き上げられ、ハンマーが持ち上がる。

アップライトピアノ

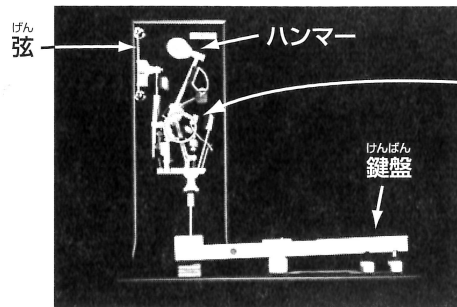
図B-1



こっちら
みると…

こういうものがズラッと並んでいるんだよ。

図B-2



弦

ハンマー

鍵盤を押すとここが突き上げられ、ハンマーが動く。

写真提供：ヤマハ株式会社

解説 P.89

だい かい 第 1 回 けいしき ソナタ形式

クイズとドリルで
おん かく だい 1 回
音楽大冒険

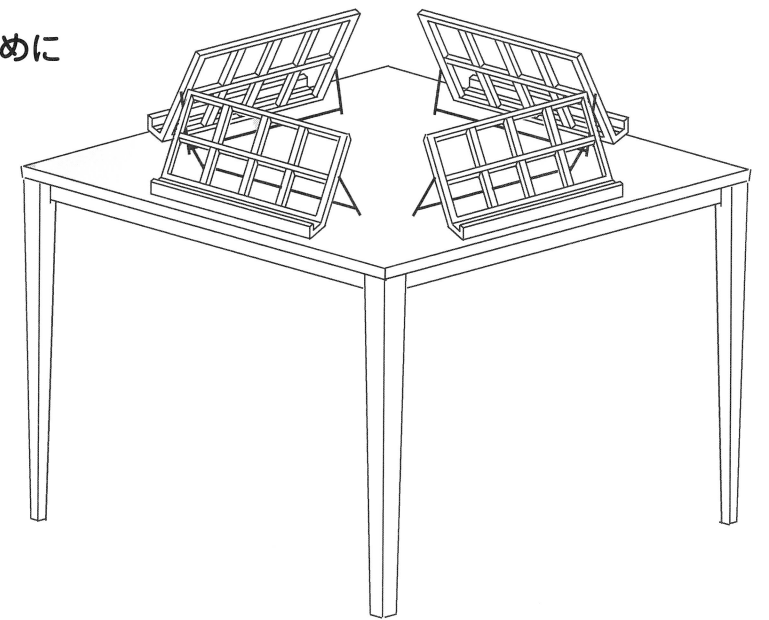


こ みやまさやす せんせい
問題作成：小宮正安 先生
す だかやす こ
イラストー駿高泰子

こんかい
今回は、ソナチネやソナタでおなじみの「ソナタ形式」についてのクイズだよ。

もんだい 問題 1

みぎ え
右の絵のテーブルは、なんのために
つか
使われたのかな？



- ① ゲームをするため
- ② 合奏をするため
- ③ ご飯を食べるため

もんだい 問題 2

もんだい ことば
問題 1 の答えを、あることにたとえた言葉があった。
つき
次のうちどれ？

- ① 賢い人たちの話し合い
- ② 元気な人たちのダンス
- ③ カッコいい人たちの運動

せい かい
正 解 は
う ら み
裏 を 見 て ね